

ご挨拶

当センターは、2017年に開設して以降、地域の患者さんの不整脈診療に携わって参りました。

循環器内科が治療を行う病気には、虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）、不整脈、弁膜症、心筋症などが挙げられます。そして、どの病気も心不全という病気と互いに密接に関わっており、不整脈も例外ではありません。

中・高齢者の患者さんに最も多くみられる不整脈の1つである心房細動は、動悸などの自覚症状だけでなく、心不全の原因となります。一方で、元々心不全をお持ちの患者さんが、心房細動を発症すると心不全が増悪することが知られております。

また、重症の心不全をお持ちの患者さんには、突然死にもつながる心室性不整脈（心室頻拍や心室細動）といった不整脈のリスクが存在し、こういった不整脈に対する治療も必要になることがあります。

不整脈診療においては、お薬による治療はもちろんのこと、カテーテルアブレーションやデバイス（ペースメーカー、ICD、CRTDなど）植え込みといったお薬以外の治療も非常に重要な役割を果たしています。

当センターでは、心房細動に対するカテーテルアブレーションを年間約400件行っており、パルスフィールドアブレーションをはじめとした最新の機器を用いることで、効果的かつ安全性の高い治療を提供しております。また、重症の心不全患者さんに対するICD（植え込み型除細動器）やCRTD（除細動機能付き両心室ペースメーカー）の植え込みも積極的に行っております。

標準的な治療法で、多くの患者さんの病気を治すことができる一方、病気の重症度によっては治療の困難な不整脈も存在します。当センターでは、通常の熱エネルギーを用いたアブレーションやパルスフィールドアブレーションに加え、エタノールの注入による化学アブレーションも施行可能であり、その他にも心外膜アブレーションやバイポーラーアブレーション（2本のアブレーションカテーテルを用いた方法）といった高度な技術を要する治療に関しても実績があります。

今後も安全面に最大限の配慮をした上で、リスクが高い患者さんの治療にも目を背けることなく、診療にあたってまいりたいと考えております。

治療技術の進化が著しい不整脈診療において、1人1人の患者さんにとってよりよい治療とは何かを専門医が正確に判断することも、テクノロジーの進歩と同様に重要であると考えております。個々の患者様の病状に応じた治療を、適切なタイミングで提供できるように努めて参りたいと思っておりますので、いつでもご相談下さい。

スタッフ紹介

名前：白井康大（不整脈センター センター長/循環器内科 医長）

名前：山下周（不整脈センター 副センター長/循環器内科 医長）

名前：土居惇一

名前：野崎小百美

名前：加藤祐樹

当センターにおける治療内容

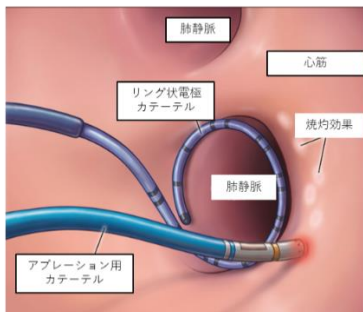
① カテーテルアブレーション

心臓の中で、不整脈の原因となっている場所をアブレーション（焼灼）することで、不整脈を治療します。

局所麻酔に加えて、鎮静薬（眠くなるお薬）を適宜使用することで、治療を行います。足の付け根（鼠径部）の血管からカテーテルを挿入するため、治療後に安静時間を要しますが、手術翌日から歩行が可能となり、通常は3-4日間の入院期間で治療を行うことができます。

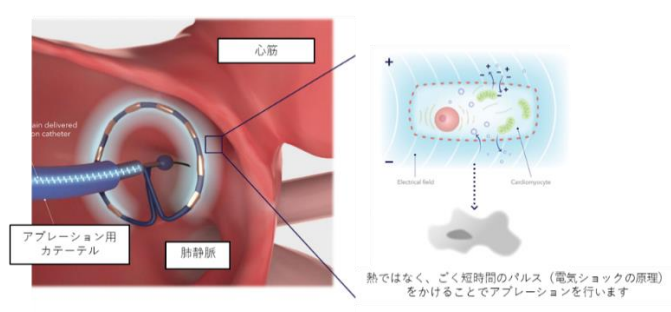
当センターでは従来の高周波（熱エネルギー）を用いたカテーテルアブレーションに加え、最新のデバイスであるパルスフィールドアブレーションや、難治性の不整脈に対する化学アブレーションなども行っております。

高周波（熱エネルギー）によるカテーテルアブレーション
（心房細動に対する肺静脈隔離術）



N Engl J Med 2016;374:2235-2245 より改変

パルスフィールドアブレーション
（熱による"やけど"とは異なる機序によるアブレーション）



Circulation. 2023;147(19):1422-1432. より改変

② デバイス治療

ご自身の脈が極端に遅くなってしまふこと（徐脈）で、心臓の働きが落ちてしまう患者さんには、ペースメーカーの植え込みが必要となります。

また、心筋梗塞やその他の心臓の病気によって、心臓の機能が低下してしまっている患者さんには、ペースメーカーとしての機能だけではなく、致死性不整脈（心室頻拍や心室細動）に対する治療（除細動）や、心臓の機能を補助する機能（心臓再同期療法）が加わった特殊なデバイス（ICD=植え込み型除細動器・CRTD=除細動機能付き両心室ペースメーカー）の植え込みも行っております。

ペースメーカーや ICD といったデバイスに関しては、従来のリード線を心臓の中に留置し、本体を胸部の皮膚の下に植え込むタイプ（経静脈タイプ）のものだけではなく、リード線がない（リードレス）タイプのペースメーカーや、リード線を心臓の中ではなく皮膚の下に留置するタイプの ICD もあり、これらのデバイス植え込みも当センターでは行っております。

その他、心房細動の患者さんにおける脳梗塞予防に用いられる左心耳閉鎖デバイスや、失神の原因を調べるための植え込み型ループレコーダーといったデバイスの植え込みも当センターでは行っております。

通常のペースメーカー
（経静脈リード）

リードレスペースメーカー

